

平成27年度事業報告及び附属明細書

1 法人の概況

(1) 設立年月日

平成23年3月4日

(2) 定款に定める目的

この法人は、平成22年4月以降において宮崎県内で発生が確認された口蹄疫（以下「平成22年口蹄疫」という。）により重大な影響を受けた県内経済及び県民生活の早期の復興及び再建を図ることを目的とする。

(3) 定款に定める事業内容

- ① 県内市町村における平成22年口蹄疫からの復興の取組を支援する事業
- ② 平成22年口蹄疫に起因する県、県産品等のイメージダウンを回復するために行う観光振興事業
- ③ 平成22年口蹄疫に伴い影響を受けた商工業の回復を図るために行う事業
- ④ 平成22年口蹄疫に伴い影響を受けた畜産業の六次産業化、農商工等連携を推進する事業
- ⑤ 家畜防疫体制の強化に関する事業
- ⑥ 前各号に掲げるもののほか、平成22年口蹄疫からの復興対策のために必要な事業

(4) 主たる事務所

宮崎県宮崎市橘通東2丁目10番1号

(5) 役員等に関する状況

8ページのとおり

(6) 職員に関する状況

- ・ 事務局長 1名 宮崎県農政水産部畜産新生推進局長
- ・ 事務局次長 1名 同 畜産振興課長
- ・ 事務局員
 - 派遣職員 1名
 - 嘱託職員 1名

2 事業の状況

(1) 事業の概要

- ①事業団体数 44団体
- ②事業件数 51件
- ③助成等金額 569,768,044円

(助成事業の内容)

1) 畜産新生分野 103,790,927円 (5団体、5件)

- ① 生産性向上等支援事業
生産性向上を図るための機器導入の実証、経営分析等システムの推進等
- ② 販路拡大プロモーション事業
全共日本一2連覇を活かした販路拡大プロモーション等を重点的に行う取組
- ③ 地域防疫等支援事業
防疫水準の向上、初動防疫体制強化等の地域防疫の充実に資する市町村自衛防疫推進協議会等の取組
- ④ 防疫・畜産振興研究等支援事業
科学的な知見に基づく家畜防疫や畜産振興等に資する研究や研修・教育事業

2) フードビジネス振興分野 143,633,089円 (14団体、14件)

- ① フードビジネスプラットホーム構築
 - ア マーケットイン強化事業
マーケットインのためのマーケティング、加工機械等の設備導入、産業人材育成等の取組
 - イ 6次産業化総合支援事業
農業者等が行う農畜水産物の販路拡大等の流通基盤づくりや施設整備等の取組
- ② 生産・供給体制づくり
 - ア 農業基盤づくり事業
新生産技術の実証、畑地かんがい営農基盤整備等
 - イ 農業設備整備事業
低コスト生産や需要に応じた安定供給を図る収量向上に資する設備整備の導入等

3) 中小企業振興分野 46,232,000円 (6団体、6件)

- ① 成長産業基盤支援事業
中小企業者等のマーケティング等の取組、商業者等の特色ある取組
- ② アンテナショップ・出展等支援事業
都市部でのアンテナショップの開設、県外・海外等の展示会への出展や商談会の開催等
- ③ 金融対策支援事業
中小企業の創業・事業拡大などの設備資金等の利子補給又は信用保証料補助

4) 誘客対策分野 77,000,000円（1団体、8件）

- ① スポーツランドステップアップ事業
スポーツランドのブランド力強化や合宿受入基盤整備等の取組
- ② コンベンション等支援事業
コンベンション開催支援や地域の誘客の取組
- ③ 修学旅行・記紀編さん1300年等推進事業
教育旅行増加対策、神話巡りツアー、ホテル旅館組合等や「食」の取組
- ④ 海外観光誘客強化事業
国際定期便等を活用した韓国・台湾等からの誘客の取組

5) 地域振興分野 193,306,000円（15団体、15件）

- ① 西都・児湯広域復興支援
西都・児湯地域の市町村の広域的な統一コンセプトに基づく拠点整備等の象徴的な取組
- ② 西都・児湯広域連携支援
西都・児湯地域の団体が広域的に実施する交流人口の拡大を図る取組
- ③ 活力ある地域づくり支援
西都・児湯地域以外の市町村が地域の活力を引き出すために実施する特徴ある取組

6) その他 5,806,028円（3団体、3件）

- ① 連携・協働復興支援事業
都農町に開設した「ふれあいの居場所」を中心に、人と地域のつながりによる新たな地域づくり活動の創出に資する取組
- ② 復興メモリアル支援事業
口蹄疫からの復興等のメモリアルに資する事業
- ③ 財団直接実施事業
口蹄疫に関する意識を風化させないための情報発信等

○詳細は、別添資料2のとおり

(2) 評議員会及び理事会の開催状況

① 評議員会

ア 評議員選任に係る書面決議

- ア) 日 時：平成27年5月19日（決議日）
- イ) 内 容：評議員の選任について

イ 評議員選任に係る書面決議

- ア) 日 時：平成27年6月1日（決議日）
- イ) 内 容：評議員の選任について

ウ 平成27年度定時評議員会

- ア) 日 時：平成27年6月8日（月）
- イ) 場 所：宮崎県庁本館3階特別室
- ウ) 内 容：平成26年度事業報告及び決算について
平成27年度事業の概要について 等

エ 評議員選任に係る書面決議

- ア) 日 時：平成27年6月19日（決議日）
- イ) 内 容：評議員の選任について

オ 評議員選任に係る書面決議

- ア) 日 時：平成27年10月1日（決議日）
- イ) 内 容：評議員の選任について

カ 評議員選任に係る書面決議

- ア) 日 時：平成28年1月18日（決議日）
- イ) 内 容：評議員の選任について

キ 監事選任に係る書面決議

- ア) 日 時：平成28年3月31日（決議日）
- イ) 内 容：監事の選任について

② 理事会

ア 常務理事選定及び事務局長の任免に係る書面決議

- ア) 日 時：平成27年4月1日（決議日）
- イ) 内 容：常務理事の選定及び事務局長の任免について

イ 平成27年度第1回通常理事会

- ア) 日 時：平成27年6月1日（月）
- イ) 場 所：宮崎県庁本館3階特別室
- ウ) 内 容：平成26年度事業報告及び決算について
平成27年度事業の概要について 等

ウ 平成27年度第2回通常理事会

- ア) 日 時：平成28年2月15日（月）
- イ) 場 所：宮崎県庁本館3階特別室
- ウ) 内 容：平成27年度事業の実施状況について
平成28年度収支予算について 等

平成27年度宮崎県口蹄疫復興対策運用型ファンド事業 実施状況

(単位：千円)

| 事業(メニュー)区分 (分野) | 助成事業者 | 事業名 | 事業概要 | 助成額 | 実施状況 | 成果等 |
|----------------------|-------------------------|---------------------------|---|---------|---|--|
| (1) 生産性向上等 支援 | 公益社団法人 宮崎県畜産協会 | 生産性向上等支援事業 | ①畜産新生モデル実証 生産性向上促進機器を導入した技術実証 | 37,119 | ①畜産新生モデル実証 機器整備：7農協で実施 ②畜産新生コンサル強化システム 平成26年9月の運用開始後、事業参加者への情報提供を 実施 ③飼料自給率向上整備 飼料用米の生産及び利用実証：2集団で実施 機器整備等：31集団 ④肉用子牛確保モデル実証 繁殖雌牛の導入：4農協で実施 | <ul style="list-style-type: none"> 生産性向上に係る技術実証による他の農家への波及が見込まれる 生産性向上に係る技術実証・普及及び経営分析結果を提供することが可能となり、畜産農家における生産性や経営力が向上され、経営の安定が図られる 県産飼料の生産体制の強化による飼料の自給率向上が見込まれる |
| | | | ②畜産新生コンサル強化システム 技術・経営分析システムの構築・運用 | | | |
| (2) 販路拡大プロ モーション | 宮崎牛及び 県産食肉販売 戦略会議 | 県産食肉の販売力強化・消費拡大 対策事業 | ①広告・パブリシティ対策 ②販路・消費拡大対策 ③海外輸出対策 ④県内外での各種イベント対策 | 22,011 | ①広告・パブリシティ対策 TV・ラジオCM放送によるPR(北部九州) ②販路・消費拡大対策 フェア開催等におけるサンプル提供等 (東京、大阪、福岡ほか) ③海外輸出対策 宮崎フェア及びサンプル提供等 (米国、EU、イリピンほか) ④県内外の各種イベント対策 牛肉消費拡大イベントほか | <ul style="list-style-type: none"> 県外への積極的な周知活動やフェア開催等により、取引先との関係強化や新たな地域における商談会等への参加などの活動が、着実に発注へとつながっている 宮崎牛指定店 488店舗(H27.3:466店舗) 輸出量 H27年度 208t 対前年同時期比141% 引き続き積極的なプロモーション活動を展開し、さらなる販路・消費拡大を図る |
| | | | 県産食肉を活用した産地加工商品の新規開発や付帯機器導入支援 ・産地加工商品の新規開発支援 ・産地加工商品の新規開発に要する付帯機器の導入支援 | | | |
| (3) 地域防疫等支 援 | 公益社団法人 宮崎県畜産協会 | 地域防疫等支援事業 | 市町村自衛防疫推進協議会等が実施する備蓄用防疫資材等の購入、倉庫や車両等消毒用施設整備など、地域防疫の充実に資する取組への助成 | 11,689 | ○12の市町村自衛防疫推進協議会に対し支援 ・消毒巡回指導、動力噴霧器の導入、車両用消毒マットの整備、防疫資材備蓄等 | <ul style="list-style-type: none"> 消毒巡回指導では、酪農ヘルパー等の人材活用と高齢者等の農場の衛生管理維持が図られ、地域一体となった防疫意識の向上や啓発が期待できる また、防疫資材の確保や防疫資材保管庫の設置等により、緊急時の初動防疫体制の構築につながっている |
| | | | 県産食肉の効率的な流通と安定した肉質、肉量、飼料効率、繁殖効率に優れた選抜基準の検討～ 安全な粗飼料生産体系の構築による粗飼料自給率の向上～ 安全・安心に向けたデータベース及び畜産基盤の構築～ | | | |
| (4) 防疫・畜産振 興研究等支援 | 国立大学法人 宮崎大学 | 宮崎県の畜産業の新たな成長に向けた研究プロジェクト | テーマ1：生産性向上 ～肥育システム、繁殖効率、肉質、肉量、飼料効率、繁殖効率に優れた選抜基準の検討～ テーマ2：生産性向上 ～安全な粗飼料生産体系の構築による粗飼料自給率の向上～ テーマ3：防疫体制の強化 ～安全・安心に向けたデータベース及び畜産基盤の構築～ | 19,972 | <ul style="list-style-type: none"> 早期枝肉出荷プログラムの構築 脂防壊死症・枝肉瑕疵の発生機序の解明と予防対策 良質自給粗飼料の永年生産体系の確立と放牧利用の推進 牧草ルジグラスの育成と粗飼料生産体系の構築 養豚経営におけるデータベースの構築 重要家畜伝染病の危機管理と疾病コントロールによる畜産基盤の構築 | <ul style="list-style-type: none"> 畜産基盤の強化により、新たな雇用創出が見込まれる 県産食肉を使った新商品開発による食肉業者等の新たなビジネス展開と県産食肉の販路・消費拡大が期待されるとともに、食肉加工販売力の強化が図られる |
| | | | テーマ1：防疫・畜産振興研究等支援 テーマ2：防疫・畜産振興研究等支援 テーマ3：防疫・畜産振興研究等支援 | | | |
| 計 | | | 1団体 1件 | 11,689 | (主な研究内容) テーマ1：生産性向上 ～肥育システム、繁殖効率、肉質、肉量、飼料効率、繁殖効率に優れた選抜基準の検討～ テーマ2：生産性向上 ～安全な粗飼料生産体系の構築による粗飼料自給率の向上～ テーマ3：防疫体制の強化 ～安全・安心に向けたデータベース及び畜産基盤の構築～ | |
| 計 | | | 1団体 1件 | 11,689 | (主な研究内容) テーマ1：早期枝肉出荷プログラムの構築 テーマ2：脂防壊死症・枝肉瑕疵の発生機序の解明と予防対策 テーマ3：良質自給粗飼料の永年生産体系の確立と放牧利用の推進 テーマ4：牧草ルジグラスの育成と粗飼料生産体系の構築 テーマ5：養豚経営におけるデータベースの構築 テーマ6：重要家畜伝染病の危機管理と疾病コントロールによる畜産基盤の構築 | |
| 計 | | | 1団体 1件 | 19,972 | | |
| 合計(1 畜産新生分野) | | | 5団体 5件 | 103,791 | | |

平成27年度宮崎県口蹄疫復興対策運用型ファンド事業 実施状況

(単位：千円)

| 事業(メニュー)区分 (分野) | 助成事業者 | 事業名 | 事業概要 | 助成額 | 実施状況 | 成果等 |
|--------------------|-----------------------------|---|---|--------|--|---|
| 2 フードビジネス振興分野 | 宮崎県中小企業 団体中央会 | 発展型食品産業振興事業 | 県内農畜産物の付加価値を高める商品開発、販路開拓等への取組を助成 | 22,442 | ○ソフト事業(商品開発、販路開拓等)：1社 ○ハード事業(機器導入)：6社 ○18の商品開発(キャリアイイも等) | 県産農林水産物を活用した魅力ある新商品を多数開発するとともに、効率的に大規模市場(首都圏、海外)への販路を拡大することで、県内フードビジネスの成長産業化に寄与するとともに、新たな雇用創出が期待できる ・新規雇用16名、さらに複数名の雇用見込み |
| | 公益財団法人 宮崎県産業振興 機構 | フードビジネス衛生管理向上支援 事業 | HACCP、ISO、SQFなど食品の衛生管理の認証取得を目指す企業や衛生管理の向上を目指す企業等に対して支援 | 6,898 | ○ソフト事業(社員教育等研修)：2社 ○ハード事業(手洗い場設置、排水路整備等工場改修等)：3社 ○ソフト、ハード事業(専門家指導、工場改築)：1社 | ・社員の衛生管理教育や食品加工現場における異物混入防止に必要不可欠な対策を行うことで、取引先の信頼が得られ継続的取引が期待されるとともに、新規の取引先開拓への足がかりができ、安定した経営基盤の構築が期待できる ・食品の販売期間延長、廃棄量の削減に寄与する装置のため、広範囲に市場展開させることができる ・安価で簡易設置可能な装置により、さらなる防疫対策が期待できる ・これらの取組により、器械メーカー等に対する認知度向上や、技術レベルの向上にもつながり、さらに、食品加工業者や農業者等の生産性の向上等が期待できる |
| | 一般社団法人 宮崎県工業会 | 食品・農業機械開発支援事業 | 県内機械製造企業の食品機械・農業機械の開発に対する取組を支援し、県内機械製造企業の認知度の向上や食の加工分野の強化を図る。 | 2,939 | ○ソフト事業：2社 ・冷蔵ショーケースの実用化 ・家畜伝染病防疫用簡易消毒ゲート開発 | |
| | 一般社団法人 宮崎県商工会議 所連合会 | みやざきのフードビジネスを支える インターネットビジネス普及促進 事業 | インターネットビジネス(インターネットショッピング)への取組を強化 1 人材育成(振返会、人材育成講習会、セミナー開催) 2 ネットショッピングモールでの宮崎フェアの開催 | 4,600 | 1 人材育成 ・振返会 ・参加店舗の成長確認と次回展開の協議等 ・講習会開催(9月～11月) E.C.アタマの磨き方、初心者セミナー等開催 宮崎フェア(2/1～3/3開催) 出席者数：27社 | ○人材育成講習会参加者 11企業12名 ○参加企業間でのアドバイス等県内ネットワーク形成が進み、卒業生受講生同士で問題解消するという効果が生まれてきている ○ネットを通じた県内農産物や県産加工品の販路開拓の可能性が高まっている |
| | 一般社団法人 みやざきP.E.C推進 機構 | 都市圏飲食業界における宮崎食材 の販路拡大事業 | 1 宮崎食材プロモーションの開催(東京) 高級レストランやチェーン展開を行う飲食店を対象に、農水産物のプレゼンテーション及び試食会等を実施 2 宮崎フェアの開催(首都圏) 宮崎食材の消費拡大及び販路拡大を図る。 | 2,000 | 1 宮崎食材プロモーション H28.2月開催 宮崎フェア ・神戸(ホテル) H27.9月～10月開催 宮崎ブランド食材10品目(宮崎牛、ちりめん等) ・首都圏 H28.2月～3月開催 宮崎マルシェ(福岡) H27.8月～9月開催 宮崎食材(佐土原ナス、パパイヤ)の販路開拓等 参加店舗 27店舗 | ○宮崎ブランド食材のPR及び新たな販路開拓が期待 ○新たな流通ルートの構築及び問題点の整理 |
| | 公益財団法人 宮崎県産業振興 機構 | みやざきフードビジネス推進事業 | フードビジネスに関する県民理解・醸成を図るため、推進大会を開催し、農林漁業者や食料品製造業者等の取組意欲の向上を図る。 1 みやざきフードビジネス推進大会の開催 2 みやざき美味しい食づくりに取り組むプロジェク トの開催 | 3,937 | 1 みやざきフードビジネス推進大会 平成28年9月15日開催 基調講演及び県内企業経営者による事例発表 みやざき美味しい食づくりに取り組むプロジェク ト 県産豚肉を使用した酒に合うレシビを県民より募集 | ○フードビジネスに取り組み機運の醸成が図られている ○「みやざき美味しい食づくりに」により、宮崎県産農水産物を使用した新しい食の提供が期待される |
| | 公益財団法人 宮崎県産業振興 機構 | フードビジネスプラッシュアップ 支援体制構築事業 | フードビジネス相談ステーションでのピアリングを起点とし、デザイン、レシビ、マーケティングなどのアドバイスを行い、事業化を促進する。 | 8,233 | 22社に対し助成 ・バイヤー等マーケティングの意見聴取や調査 ・商品デザイン ・食品レシビの作成 ・マーケティングの検討 ・テストマーケティング など | フードビジネス相談ステーションへの相談案件の解決へ向けた取り組みが進むことで、各事業者の企画力・商品力アップが図られ、フードビジネスを中心とした本県経済のポトムアップの推進に資する。 |
| | 宮崎県農業協同 組合中央会 | 食の大規模誘客施設設置検討事業 | 県内の主要機関等による大規模誘客施設整備検討組織を設置し、意見交換や先進事例調査を行い、「食の大規模誘客施設」整備の具体化を検討する。 | 603 | ・先進事例視察予定 H28.1.29～30(群馬県、富山県) ・検討会開催 H27.12月 | ・民間主導で整備された他県先進事例を参考に、低コストで最大限の効果を生む施設の整備・運営手法の情報収集を実施 ・県内外から観光客を集客できる「食」の魅力を生かした大規模誘客施設の整備イメージを作成するとともに、施設整備に向けた主要機関・団体の合意形成を図る |
| | 小計 | 8団体 | 8件 | 51,652 | | |

平成27年度宮崎県口蹄疫復興対策運用型ファンド事業 実施状況

(単位：千円)

| 事業(メニュー)区分 (分野) | 助成事業者 | 事業名 | 事業概要 | 助成額 | 実施状況 | 成果等 |
|-----------------------|-------------------------|--------------------------|--|---------|---|---|
| (1) フードビジネスプラットフォーム構築 | 公益社団法人 宮崎県農業振興 公社 | みやざき6次産業化総合支援事業 | 1 6次産業化トラリアリアルサポート事業(ソフト事業) 農業者等が行う新商品開発、販路開拓等に要する経費の 支援 | 44,092 | 1 6次産業化トラリアリアルサポート事業(ソフト事業) 新商品開発・販路開拓等 事業実施主体 11件 2 6次産業化推進支援整備事業(ハード事業) 事業実施主体 12件 | <ul style="list-style-type: none"> 6次産業化の商品として販売するための商品化や商談会参加による販路開拓が見込まれるなど、成果を上げている事例も出てきている また、試作や構想段階であった商品や販売方法が、当該事業により体制が整備され、多種多様な総合化事業計画の実現が進んでいる 県事業との連携により相乗効果が発揮され、6次産業化を旨とする農業者等に対し、きめ細かな支援体制が構築されたこと、これらからの取組により、農家所得の向上、農村地域の活性化が期待される |
| | | | 2 6次産業化推進支援整備事業(ハード事業) 農産物の生産・加工・販売等に必要設備の整備に係る経費の支援 | | | |
| ② 総合支援 | 宮崎キャピタル 事業協同組合 | 宮崎キャピタルブランド創出事業 | <ul style="list-style-type: none"> 宮崎産キャピタルの商品ブラッシュアップ 宮崎産キャピタルの販路開拓・PR等 | 5,100 | <ul style="list-style-type: none"> 新商品開発 2品目・宮崎キャピタル1983 クリスタル 販路開拓・PR等 宮崎キャピタル1983 Soiree Ensemble ショー・ド・ショール(東京ビッグサイト 8/19~21) 商談成立3社、商談継続2社 ドンペリとの相性調査(三越逸品会での調査) 109名に対しアンケート調査 海外展開に向けた特別講演会の開催(宮崎 9/7) 県内事業者等を対象(192名参加) | <ul style="list-style-type: none"> 知名度の高い商品等とのコラボにより、宮崎キャピタル1983のブランド価値がより高まった 効果的な展示会への出席により、商談が成立するとともに今後の売上増に繋げることが可能となった |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> 連携する県内水産加工企業における食品安全衛生環境の把握と改善指導 主要水揚げ魚種を対象とした高付加価値化を目指す加工品の開発 県内外における開発商品の販路確保、拡大 | 2,819 | <ul style="list-style-type: none"> 新商品開発 16品目 シイラつくね、かつおミートボール等 販路開拓・PR等 フードエキスポ九州、九州商談会等 食品衛生環境向上に向けた指導強化 県内水産加工場2社について、調査・助言 | <ul style="list-style-type: none"> 新商品の開発や販売促進活動により、宮崎県産の知名度向上が図られ、県内水産加工企業の売上増につながる さらに、原料となる県内水揚げ加工品に回すことで、漁業生産者の所得向上にも資することができると見込まれる |
| ① 農業基盤づくり | 宮崎県土地 改良事業団体 連合会 | みやざき畑かんがい営農基盤整備事業 | <ul style="list-style-type: none"> かんがい用水有効利用促進整備 散水施設や給水栓の整備等に要する経費の支援 小規模基盤整備 湛水防除に必要な用水路の整備等に要する経費の支援 | 10,995 | <ul style="list-style-type: none"> かんがい用水有効利用促進整備 6箇所 小規模基盤整備 1箇所(1,500ha) | <ul style="list-style-type: none"> 散水器具等の整備により、畑かんがい用水の有効活用や散水作業の省力化が図られた 1,500haの湛水防除のための基盤整備により、畑かんがい用水を活用した環境保全型農業を普及できるモデルほ場の整備ができた 畑かんがい用水の普及や畑かんがい用水の有効活用により、安定的かつ収益性の高い農業が可能となる |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> 葉たばこ廃作農地や埋却地等を活用した加工・業務用ニーズに対応した土地利用型品目導入のための高性能農業機械等の導入を支援 農産物の安定生産及び生産拡大を図るために必要な施設整備費、高収益を実現する設備の導入を支援 | 7,738 | <ul style="list-style-type: none"> 土地利用型品目の産地育成、加工・業務用機械等の導入支援(定植機、防除機等) 支援団体：16事業主体 | <ul style="list-style-type: none"> 農地をフル活用し、市場ニーズの高い加工・業務野菜用等土地利用型品目の生産拡大が図られた 土地利用型品目の産地育成と加工・業務用など、新たな市場ニーズに対応が可能となった 高性能機械導入により、生産コストの低減等が図られた。 |
| ② 供給・生産体制づくり | 宮崎県農業 再生協議会 | 高品質・安定生産化及び高収益生産技術導入支援事業 | <ul style="list-style-type: none"> 農産物の安定生産及び生産拡大を図るために必要な施設整備費、高収益を実現する設備の導入を支援 | 21,237 | <ul style="list-style-type: none"> 高品質化、高収益に資する設備、生産技術の導入の推進 設備導入支援：21事業主体 (養液土耕システム、防虫ネット、炭酸ガス発生装置等) | <ul style="list-style-type: none"> 養液土耕システムや炭酸ガス発生装置の導入により、野菜の収量増が見込まれ所得増が期待されている さらに、防虫ネットの導入では、野菜のウイルス病対策の一助となるとともに、防除作業が軽減されるなど、高品質化や講習液化につながる成果が得られた これらの導入支援により、生産性の向上による収量増が期待される |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> 小計 | 28,975 | <ul style="list-style-type: none"> 小計 | <ul style="list-style-type: none"> 小計 |
| 合計(2) フードビジネス振興分野 | | | 14団体 14件 | 143,633 | | |

平成27年度宮崎県口蹄疫復興対策運用型ファンド事業 実施状況

(単位：千円)

| 事業(メニュー)区分 (分野) | 助成事業者 | 事業名 | 事業概要 | 助成額 | 実施状況 | 成果等 |
|--------------------|---------------------------|------------|--|--------|--|--|
| 成長産業基盤 (1) 支援 | 一般社団法人 宮崎県商工会議 所連合会 | 成長産業基盤支援事業 | 県内商工会議所が行う成長産業化に資する実効性の高い取組を支援(3者) ○みやざきBeeプロジェクト事業 (宮崎商工会議所) 宮崎市中心市街地のビル屋上で養蜂を行い、採取されたハチミツ等を利用した商品開発し、商談会への出典、試食会の開催等を実施。 ○中心市街地賑わい創出事業(宮崎商工会議所) 大型店舗とともに、面的な大街市祭を開催する。また、各種情報媒体を利用したPRを実施 ○「チョウウザメ炙りちらし」定着化事業 (小林商工会議所) ・「小林チョウウザメ炙りちらし」等のPR ・販売促進・PR ・各種イベントへの参加等 | 8,456 | ・付加価値の高い商品開発 ・地域を巻き込んだイベント等の開催による認知度向上対策への露出により、市民の間に周知されてきた ・街市を年10回開催 ・大街市祭を7月、10月に実施 ・ひと手間加えて売り上げup講座を開始(3回) ・商談会を開催(2/27) ・「小林チョウウザメ炙りちらし」等のPR ・新聞や観光パンフレット、旅行紙等に掲載 毎月9日をチョウウザメの日として定着させるため、提供店によるイベント開催や観光地・観光農園と連携した取組、フェイスペインクを活用した情報発信等 ・独自イベントの実施等 ・小林市と連携した、市外イベントへの参加・出展 | ・採重量約95kg(H26:170kg、H25:125kg) ・販売店舗数11店舗(H26:10店、H25:8店) ・地域の保育園や小学校を巻き込んだイベント等やメディアへの露出により、市民の間に周知されてきた ・出店数：421店舗 ・市内で開催されるイベントと連携したことで、滞留時間の延長等多くの集客となっている ・街市や大街市の開催が、企業や店舗等のPRの場となり、さらに、若年層の職業体験の場として活用する企業や団体も増えてきた ・販売職数 「小林チョウウザメ炙りちらし」及び「小林チョウウザメにぎり購」：計20,000食以上 ・広報活動及び販売促進の効果が出ている ・他県、他団体からの視察申込み：25団体・約600名 |
| | 宮崎県商工会 連合会 | 成長産業基盤支援事業 | 商工団体等が地域の中小企業者の成長に向けて実施する取組を支援する(8者) ・県内商工会が推薦する創業者の取組を支援 ・新商品・サービスの開発 ・販路拡大につながる取組 ・集客アップにつながるICT、アドバイザー等の支援 中小企業者等(高岡町商工会会員) ○“温めて健康!”健康事業部の立ち上げ ・店舗内に、無料治療器体験ブースを設置後、新たな分野(家庭内電子治療器)による販路拡大 中小企業者等(川南町商工会会員) ○マンゴージュエルの試作と高付加価値マンゴージュエルの試作及び販路拡大事業 ・新商品の試作及び販路開拓 中小企業者等(国富町商工会会員) ○地域住民の生活密着型健康サポート事業 ・既存店内(医薬品販売)に、新分野(婦人服等販売)及び喫茶部門の設置(事業の多角化) 中小企業者等(えびの市商工会会員) ○加工品保存設備導入等事業 ・みやざき地頭鶏を素材とした新商品(燻製・ミンチ)の製造及びパッケージデザイン、並びに販路拡大 中小企業者等(高千穂町商工会会員) ○高千穂の新たなイメージ創出事業のための店舗改装及びパンフレット作成 ・飲食店舗を神楽や小規模ダンス等のイベントも開催可能な場とし、新サービス等を展開する 中小企業者等(五ヶ瀬町商工会会員) ○利用価値のない木材(山地残材、間伐材等)を有効活用した新・販売システムの構築 ・新たなストープ用「薪」の生産及び販路拡大 中小企業者等(えびの市商工会会員) ○「ニッポン全国物産展」出展 ・焼酎の認知度向上・販路開拓 中小企業者等(綾町商工会会員) ○「ニッポン全国物産展」出展 宮崎県綾町で加工した切り干し大根などの販路開拓 | 5,161 | ・治療体験会の設置 H27.10月開店 ・各種展示会やイベント等へ出店し、認知拡大、顧客獲得に努めている ・マンゴージュエルのミルクベース及び高付加価値マンゴージュエルの試作 ・全国食の発掘商談会やフードエキスポ九州2015等に参加し販路拡大を図っている ・レイアウト工事後(10月) ・内装工事後、オープン(12/4) ・燻製、ミンチの商品化 ・道の駅「えびの」で、販売開始 ・店舗フロア改装完了(9月末) ・パンフレットの作成 ・パンフレット、展示会用ポスター等製作 ・「薪まきクラブ」の薪として販売 ・展示会：福岡市、宮崎市、小林市でのイベントに参加 ・ニッポン全国物産展 H27.11.20~22(東京)に出展 新商品の出品・販売 ・ニッポン全国物産展 H27.11.20~22(東京)に出展 切り干し大根の試食をメインにPR・販売 | ・治療体験会場 1.5組/月の新規顧客、ユルユルの来店 ・健康事業部関連で、売上額：60万円/月アップ ・近隣地域からも来客があり、知名度が向上 ・全国食の発掘商談会で、「味覚部門」及び「デザイン部門」で2冠を達成、現在、4社と商談中 ・フードエキスポ九州2015にて、十数社と商談中 ・医薬品購入客が、婦人服も購入するなど、認知度も向上してきている ・また、喫茶コーナーでの客のニーズを引き出すなど、従来の事業も加え、相乗効果が出てきている ・道の駅「えびの」での売上げ：4個/日 ・リピーターも増えてきており、想定以上の売上げ ・今後は、ネット上でも販売予定 ・店舗改装に伴い、来店客数が伸びてきている H27.11月来客数 269人(昨年11月 112人) ・結婚式の二次会での利用や家族連れのお客が多くなり、一定の効果が出てきている ・ネット販売の構築により、HPからの10件/日の問い合わせがある。 ・パンフレットの配布等により注文が増加している。 ・3日目には完売するなど、盛況 ・商談も酒田問屋2者、酒小売店3件、さらに、東京の販売店への販路開拓への足がかりとなった ・首都圏への絶好のPRとなり、販路開拓への足がかりとなった ・今後、5者のバイヤーと交渉継続中 |
| 計 | | | | 13,617 | | |

平成27年度宮崎県口蹄疫復興対策運用型ファンド事業 実施状況

(単位：千円)

| 事業(メニュー)区分 (分野) | 助成事業者 | 事業名 | 事業概要 | 助成額 | 実施状況 | 成果等 |
|------------------------|-----------------------------|---|--|--------|---|---|
| アンテナショップ・ (2) 出展等支援 | 公益財団法人 宮崎県物産貿易 振興センター | 宮崎県産品国内外総合販路拡大事 業 | 国内外において県内企業の取引促進を支援し、一層の販路 拡大、消費拡大を図る | 21,000 | <p>【国内】 アンテナショップ設置 本県産の青果物や加工食品をPR・販売を行い、新たな 販路開拓を図った ・福岡地区：イオン香椎浜店 (4/14～20) ・大阪地区：イオン岡山店 (6/16～21) ・岡山地区：イオン岡山店 (10/7～12)</p> <p>【海外】 宮崎フェア・プロモーション等の実施 本県産の青果物や加工食品のPR・販売を行い、レスト ランやスーパー等、新たな販路開拓を図った ・香港：E.G.L. 耀光・物産プロモーション (10/15～) 国際食品商談会「沖縄大交易会」(11/26～27) Japan Premium Store (1/27～2/10) ・台湾：2015年新・日本旅遊節 (6/18～21) 高雄キートン便・宮崎PRレセプション(10/19) 裕毛屋 宮崎フェア (3/7～13)</p> | <p>【国内】 アンテナショップ 売上金等 ・イオン香椎浜店 : 商品数 64、売上金 44万円 ・阪急百貨店うめだ本店 : " 28、" 152万円 ・イオン岡山店 : " 24、" 21万円 ・高島屋百貨店岡山店 : " 400、" 1,370万円</p> <p>【海外】 ・香港 : 国際食品商談会「沖縄大交易会」 出展商品 34、商談件数10件 ・台湾 : 2015年新・日本旅遊節 展示・テレスト販売商品数 11 ・高雄キートン便・宮崎PRレセプション 参加者 30名 (政府機関、旅行代理店等)</p> <p>国内においては、福岡及び大阪にミニアンテナショップを 設置し、新たな販路開拓につなげた。 海外においては、フェア開催やPRプロモーション等の実 施により、香港、台湾での新たな販路開拓及び人的ネット ワークの構築が今後期待できる。 また、国内外ともにミニアンテナショップやフェア開催、 バイヤー招聘等によるPRプロモーションの実施により、本 県の知名度・認知度アップが図られている。</p> |
| | 公益財団法人 宮崎県産業振興 機構 | 展示会出展支援事業 | 「医療機器開発・製造展」に出展し、県外企業との取引の 拡大を促進、県内中小製造業者の製品や技術力、受注能力の PR等に要する費用の助成 | 3,000 | <ul style="list-style-type: none"> 第6回関西医療機器開発・製造展 出展支援 (大阪市) (会期：H28.2.24～26) 出展企業 (公募)：5社1グループが参加 | <ul style="list-style-type: none"> 取引件数(2件)、試作・見積依頼(16件)、図面検討(1件) 後日訪問約束取り付け(12件) 後日訪問約束等が多いことから、今後の販路拡大に繋がる ことが期待できる。 |
| | 宮崎県商工会 連合会 | アンテナショップひむかよかもん 市場を核とした商品開発並びに販 路拡大強化事業 | 県内39商工会会員等の中小企業者・小規模事業者の商品の 情報発信(データベース化)、販路開拓を総合的に進めると ためのアンテナショップの運営、ミニ商談会の開催や特産品カ タログなどを通じた新たな販路開拓等を行う | 8,000 | <ul style="list-style-type: none"> アンテナショップ「ひむかよかもん市場」の運営 ヤフーショッピングへの出展や香川県商工会連合会運営 のアンテナショップへの出品 県内商工会員事業所商品の情報発信 カタログギフトへの掲載(初回1,000冊) 商談会開催 地場産品データベースを活用した商談会開催(H28.3月) | <ul style="list-style-type: none"> 売上高：約2,515万円(対前年同時期比12%) 地場産品データベースの構築により、商談会前に商品情報 を相手に提供でき、スムーズな商談に繋がった。 商談会については、中小・小規模事業者にとっては、絶好 の機会となっている。 |
| (3) 金融対策支援 | 公益財団法人 宮崎県産業振興 機構 | 金融対策支援事業 | 市町村が実施する創業・新分野・事業拡大などの設備資金 等の県・市町村融資制度に係る利子補給への助成 | 615 | <ul style="list-style-type: none"> 中小企業者から町への申請状況 ・市町補助件数：67件 高原則、高鍋町、新富町、川南町、高千穂町 | <ul style="list-style-type: none"> 中小企業者の経営多角化・収益改善を図るための太陽光 発電事業への新規参入や業務効率化のための新規設備導入 促進 新規創業等資金需要の喚起が図られ、県内経済の活性化に 寄与 当該事業による事業者の平成24年度からの総投資額 約31億円 |
| | 計 | | 3 団体 3 件 | 32,000 | | |
| | 計 | | 1 団体 1 件 | 615 | | |
| 合計 (3 中小企業振興分野) | | 6 団体 6 件 | 46,232 | | | |

平成27年度宮崎県人口蹄疫復興対策運用型ファンド事業 実施状況

(単位：千円)

| 事業(メニュー)区分 (分野) | 助成事業者 | 事業名 | 事業概要 | 助成額 | 実施状況 | 成果等 |
|------------------------|-----------------------|------------------------|--|----------|--|--|
| (1) スポーツランドステッピングアップ | | 「スポーツランドみやざき」ブランド力強化事業 | スポーツキャンプ・合宿やスポーツイベントなどに対する支援 | 18,000 | <ul style="list-style-type: none"> プロ野球ファーム日本選手権 10/3(巨人VSソフトバンク) 観客数6,427人 インターナショナルライフェービングカップ大会 7/9~20(青島ビーチ) 6カ国7チーム参加 出場選手等130人 全日本男子バレーボール 紅白試合 5/17 観客数1,606人 第4回アグサレディーズ・ゴルフ・トーナメント 3/27~29 観客数13,782人 | 大型スポーツイベントの開催等により、国内外から多くの観客や競技団体等が訪れ、経済効果はもとより、2020年東京オリンピックの事前合宿地として、国内外に広くアピールすることができ、スポーツランドみやざきのPRに大きく寄与 |
| | | 「みやざきアスリートフード」推進事業 | 本県の「食」を活用したアスリートフードを開発し、スポーツ合宿の受け入れ環境の向上を図る | 2,000 | <ul style="list-style-type: none"> みやざきアスリートフードメニュー開発 増量、減量、貧血対策の3項目、30品 みやざきアスリートフード試食会の開催 11/27(コテージジヒムカセンター) 県内トップアスリートアスリート等約50名参加 PRリーフレット5,000部作成 | <ul style="list-style-type: none"> 本県独自のアスリートフードメニューを県内のスポーツ合宿受入宿泊施設に提供し活用してもらうことにより、スポーツ合宿の効果を高めることができ、今後のスポーツ合宿の誘致促進を図ることができる 東京オリンピック事前合宿誘致に向け、他県との差別化、スポーツランドみやざきの新たな魅力付けを図った |
| | | コンベンション等支援事業 | コンベンションの本県での開催を積極的に支援する。市町村等が行うアフターコンベンションの環境整備に係る支援 | 5,800 | <ul style="list-style-type: none"> 【コンベンション開催支援状況】 ・助成件数…8件 ・延べ参加者数…約6,052名 ・延べ宿泊者数…約4,316名 | <ul style="list-style-type: none"> 宮崎のアフターコンベンション環境、MICE開催環境の良さについて、実感いただき「コンベンション開催地としての宮崎」の知名度向上に寄与 ホテル、飲食店等各種業界への経済効果が図られた |
| | | 教育旅行推進事業 | より一層のセールスプロモーションや招聘活動等を行い、教育旅行の誘致促進を図る。 | (4,870) | <ul style="list-style-type: none"> 関西地区や北部九州地区、さらに本県と連携協定を締結している川崎市を中心とした首都圏を重点地域として、誘致活動を実施 併せて、九州観光推進機構や九州各県、JR西日本と連携したセールスプロモーション活動等を実施 | <ul style="list-style-type: none"> 本県がメインターゲット(重点地域)として誘致活動を実施している関西地区や北部九州地区、首都圏を中心に、新規予約が年々増加するとともに、旅行会社や学校関係者の間で、本県が入札の際の候補地に挙がるケースが増加するなど、教育旅行先としての本県の認知度が向上しつつある |
| (2) コンベンション等支援 | 公益財団法人みやざき観光コンベンション協会 | 記紀編さん1300年事業 | 記紀にゆかりの深い宮崎の「神話」、「伝説」の魅力を紹介する | (18,700) | <ul style="list-style-type: none"> 神話のふるさとみやざきの広報 ツーリズムEXPOジャパン2015(9/25~27 会場：東京ビッグサイト) 総来場者数：173,602人 東九州自動車道関係 大分宮崎ドライブバス2015利用件数 10,651件 大分宮崎共同広告 チラシ、ポスター作成、ミニのぼり製作 | <ul style="list-style-type: none"> キャンペーンやイベント等を通じて宮崎県の魅力を多数発信したことにより、「観光地・宮崎」の知名度向上に寄与 特に、本年3月の大分市・宮崎市間の開通により利便性が向上した北部九州や中・四国地方への重点的なPRにより当該地域からの新規誘客に寄与した。 また、「大分・宮崎ドライブバス2015」においては、キャンペーンの特徴である定額乗り降り放題を生かし県内全域における周遊観光をPRすることで、経済効果の県内全域への波及や滞在時間の延長による旅行消費額向上に寄与した |
| | | | | (6,530) | <ul style="list-style-type: none"> 「日南海岸コース」毎週土・日曜日・祝日運行 H27.8.8~H28.3.27までの期間 ※定期観光バスを活用 「高千穂回遊バス」毎週土・日曜日・祝日・繁忙日に運行 H27.9.19~ 「西都・西米良コース」 H28.2.6~H28.3.26までの期間 | <ul style="list-style-type: none"> 平成27年11月30日現在 ○「日南海岸コース」(81日間)利用者 1,050名 ○「高千穂回遊バス」(100日間)利用者 4,563名 ○「西都・西米良コース」(8日間)利用者 293名 ○これまでの実績により、バスツアーの認知度が高まってきている ○民間主体による運行への移行と県外誘客を視野に入れ、定期観光バスの活用や路線バスによる周遊バスを実施することで、県外客の受け入れ体制の強化が図られた |
| | | | | (6,500) | <ul style="list-style-type: none"> 県内の宿泊施設等で「宮崎牛すきやき」などをワンコイン(500円)で食べることができるようクローゼット付きの旅行商品を作成(ANAセールス「旅トキ九州」/通年実施) | <ul style="list-style-type: none"> ○昨年度から同様の事業を展開しているが、徐々に当該商品の認知度が高まってきており、送客実績も順調に推移している 【送客実績】・27年度 [旅トキ/上期] 3,038人泊 [旅トキ/下期] 3,182人泊(～1/31) |
| (3) 修学旅行・記紀編さん1300年等推進 | | | | 36,600 | | |
| | | | | 14,600 | <ul style="list-style-type: none"> 韓国、台湾へのセールスプロモーションや宿泊支援や広告支援などの事業を実施 | <ul style="list-style-type: none"> 韓国・台湾の旅行会社から本県への送客等が促進されたことにより、県内ホテル旅館等での観光消費が増大し、本県経済の活性化が図られた 【韓国事業】 ・送客支援 982人、1,927泊 【台湾事業】 ・送客支援 158名、5,671泊 |
| (4) 海外観光誘客強化 | | 海外観光対策事業 | 韓国・台湾から本県への誘客促進を図る | 77,000 | | |
| 合計(4 誘客対策分野) | | | | 1 団体 8 件 | 77,000 | |

平成27年度宮崎県口蹄疫復興対策運用型ファンド事業 実施状況

(単位：千円)

| 事業(メニュー)区分 (分野) | 助成事業者 | 事業名 | 事業概要 | 助成額 | 実施状況 | 成果等 |
|--------------------|-----------------|--|--|--|---|---|
| (1) 西都・児湯広域復興支援 | 西都市 | 西都市「食の拠点」施設等整備事業 | 農産物や料理、加工品の販売とPR及び新たな食の開発並びに食と観光の有機的な連携を進め、「食創生都市」を実現するため、「食の拠点施設整備基本計画」のコンセプト及びネットワーク計画に基づいた取組を行う | 44,373 | <ul style="list-style-type: none"> 食の拠点施設関連業務委託 地域資源情報発信システム構築 自転車安全利用促進計画策定 物産・観光交流事業(福岡市、長崎県西海市等) | 物産観光フェア等の開催により、農産物をはじめとした、食のPRと、観光のPRを開催することができ、市の認知度向上に繋がった |
| | 高鍋町 | 花守山整備事業 | 高鍋大師周辺の植栽及び特田古墳群との一体的な整備(散策道、駐車場、グランドゴルフ場の整備) 事業期間：H23～H27 | 29,200 | <ul style="list-style-type: none"> 排水対策整備 安全対策整備 景観整備 広場整備 園路整備 開演イベント | 地元住民及び町内外の関係団体との連携を図りながら「高鍋大師」の保存と活用を推進することで、交流型観光地が実現する。(開園式以降は1,000人/月以上の来訪者あり) ・平成28年3月13日 完成記念式典開催 |
| | 新富町 | しんとみスカイパーク構想事業 | 「スカイパーク」をコンセプトに、新田原基地を観光資源として活用するなど、町の振興、集客の核となる拠点を整備 事業期間：H23～H27 | 67,422 | <ul style="list-style-type: none"> 「海」の拠点整備 漕艇庫整備 浮桟橋設置 | 「海」の拠点整備により、富田浜周辺の宿泊研修機能が充実することより、スポーツ合宿を初めとする多様なツアーリズムへの受入能力が格段に向上するとともに、来訪者の回遊性・滞在性が高まることによる地域の経済活性化が期待でき |
| (2) 西都・児湯広域連携支援 | 計 3団体 3件 | | | 140,995 | | |
| | さいとこゆ観光ネットワーク | さいとこゆ観光ネットワーク事業 | ファンド事業を活用して整備する拠点を結びつける広域観光ルートの開発、観光パンフレットの作成、合同キャンペーン・イベントの実施等 | 7,500 | <ul style="list-style-type: none"> 西都児湯鍋合戦事業(11月15日開催) さいとこゆ食の大運動会(2月14日開催) 関連パンフレット(体験観光・スポーツ観光)の作成 | <ul style="list-style-type: none"> 鍋合戦来場者数 20,000人 西都児湯地域の「農畜産業・林業・水産業」など、地域の豊富な素材を活かした「食」と「観光」を連携させ、地域内の人的ネットワークの構築 西都児湯の交流人口の拡大及び疲弊した観光業が再生 イベントの実施を通じ、地域間の絆が深まり、互いに西都児湯地域をPRするという繋がりができてきた |
| | 都城市 | 「みやこんじよ名物肉井」創生事業 | 都城地域の人に、地元の牛・豚・鶏肉を使った「どんぶり」を企画提案してもらい、「肉井グランプリ(都城市長杯)」を決定し、全国に向けて発信する また、出店した「みやこんじよ肉井」を地元料理として認知させるため、周遊スタンプラリーを実施 肉井のテーマ：H25 牛肉、H26 豚肉、H27 鶏肉 | 2,040 | <ul style="list-style-type: none"> みやこんじよ肉井グランプリ2014 平成27年10月24日～25日開催 10店舗参加 来場者：約10,000人 売上合計：約2,300千円 グランプリ：「黄金テリチキ井十」 | <ul style="list-style-type: none"> 肉井グランプリ終了後、10店舗中8店舗がさらにブラッシュアップしたオリジナル肉井を自店舗で提供している 都城の交流人口の増加、さらに肉の消費量増加に繋がっている |
| 延岡市 | “食”を活かしたまちづくり事業 | “食”を活用した観光を推進し、延岡の魅力をPRする ○「のべおか“食”の物産展」開催等 ○食のブランディング戦略講演会の開催 | 4,975 | <ul style="list-style-type: none"> 「のべおか“食”の物産展」 エンジン01文化戦略会議オーブンカレッジ開催に合わせ、「のべおか食の採店in九保大」を開催(11/22) 食のブランディングの戦略講習会 「延岡新時代後援会」を3/25に開催(参加者:350名) | <ul style="list-style-type: none"> 「のべおか“食”の物産展」 来場者数 約4,200人 出展者数 16店舗 売上金額 約300万円 これまでの取組を、今後の“食”を活かしたまちづくりにつなげていくことにより、地域経済の活性化が図られると期待される | |
| (3) 活力ある地域づくり支援 | 日向市 | 高速道路開通PR事業 | 東九州自動車道の開通効果を活用し、市の魅力を内外に発信する ○旅行雑誌等と提携し、観光情報記事の掲載等 ○都市圏等へのキャラバン隊等派遣 ○「プロ野球春季キャンプ」や「みやぎきフェニックススリッグ」などに合わせた、全国スポーツ新聞などの広告やキャンプ情報誌等での観光PR | 5,545 | <ul style="list-style-type: none"> 観光情報記事の掲載等 旅行専門雑誌「じやらん」への観光情報掲載 キャラバン隊等派遣 「福岡ソフトバンクホークス」ゲームスポンサー事業において、観光うちわを来場者に配布し、観光PRを実施 観光PR 日向市スポーツパルクゲームの開催 「福岡ソフトバンクホークスvs東北楽天イーグルス」 | <ul style="list-style-type: none"> 東九州自動車道の全線開通を控え、本市を観光の目的地としたいため、九州北部や四国を中心に観光プロモーション活動を展開した。 その結果、本年の日向ひよつこ夏祭りは、踊り手が過去最多の105連2,000名、観客も73,000人を記録。 また、市内のホテルや民宿、キャンプ場等もそのほとんどが満室となるなど、観光誘客や観光消費額のアップにつながった。 |
| | 三股町 | ものづくりフェア補助事業 | 陶芸、染物、木工・ガラスなどの工芸展示販売会を開催し、情報発信や販路拡大につなげ、地域産業基盤の再生を図る。なお、確実な集客効果を図るため、有名工芸家を招くとともに、地元工芸家との意見交換を行うことで、より技術力の向上に資する。 また、販売会で、地域の食材を使用した食を提供することにより、素材の良さをPRするとともに、町事業で開発したメンチカツやごままと絡めることにより、さらなる相乗効果を図る。 | 2,720 | <ul style="list-style-type: none"> みまたモノづくりフェア2015 ～つくりびとのかたち～ の開催 開催日：平成27年6月19日(金)～21日(日) 参加者：16,000人(H25 10,000人、H26 13,000人) | <ul style="list-style-type: none"> イベント終了後、新規の商談へと繋がりと、産業基盤の再構築及び安定化が図られた 町内工芸家の技術力向上と、「匠のまち三股」が、県内外へのPRとなり、認識向上への機会となった 併せて開催した地場産品や特産品を活用した「食」の提供では、特産品のPRによる加工品の売上向上にもつながった 売上金額 : 682万円 工芸品販売ブース : 8万円 地場産品食のブース : 16万円 |
| | 国富町 | くにとみ天領賑わい再生事業 | 市街地に点在する古墳や神社等の地域資源を活かした観光戦略を図る ○地域資源の活用 ○新たなイベント戦略 ○既存イベントのパワーアップ戦略 | 6,176 | <ul style="list-style-type: none"> 地域資源の活用 ・史跡ガイド育成のための講座開催 ・歴史スポット・グルメパンプの作成等 ・古墳等史跡ルート案内板作成等 ○新たなイベント戦略 ・まちなか賑わいづくりイベントへの助成 ・竹細工づくり等伝承への取組(教材映像製作) ○既存イベントのパワーアップ戦略 ・本庄剣柄稲荷神社夏祭り記録映像製作 | <ul style="list-style-type: none"> 歴史スポット・グルメパンプについては、国富町の魅力を発信するための新たな取組であり、情報発信による効果は大きいと期待でき、移住定住推進も期待される さらにこれら取組は、国富町商工会を中心とした町民が主体の取組であり、今後、町の活性化、若い世代の参加が期待できる |

平成27年度宮崎県口蹄疫復興対策運用型ファンド事業 実施状況

(単位：千円)

| 事業(メニュー)区分 (分野) | 助成事業者 | 事業名 | 事業概要 | 助成額 | 実施状況 | 成果等 |
|---------------------------------|-----------------|--|---|---|--|--|
| 5 地域振興分野 (3) 活力ある地域 づくり支援 | 綾町 | ユネスコ エコパーク推進事業 | ユネスコ エコパークの推進 ①宝探し調査事業 ②フットパス検討事業 ③ユネスコ資料作成 | 3,775 | ①宝探し調査事業 記録集の作成 ②フットパス検討事業 現地調査、先進地調査、コース整備等 ③ユネスコ資料作成 原案を作成 | ①宝探し調査事業 「生物多様性アクションプラン優秀賞」(主催：国連生物多様性の10年日本委員会、環境省)を受賞し、全国にPRを実施 ②フットパス検討事業 3コース(上畑・宮原・綾城周辺)のガイド養成講座も始まり、町民25名が参加 |
| | 椎葉村 | しいばの魅力！徹底セールス事業 | 椎葉村の魅力や地域資源を積極的にアピールし地域活性化に資する。 ①都市部での「郷土芸能と食のタペ」の開催 ②夜神楽オーケストラナイトツアアの開催 ③椎葉村特産品魅力アップ・販路拡大ほか | 7,563 | ①都市部での「郷土芸能と食のタペ」の開催 平成27年11月22日 日本民家集落博物館(大阪)ほか 参加者 神楽公演300名、郷土芸能とタペ125名 ②夜神楽オーケストラナイトツアアの開催 平成27年12月12日～13日開催 ③椎葉村特産品魅力アップ・販路拡大 平成27年10月～平成28年3月実施 | ・当事業により様々なイベント等を実施してきた。商店街を歩かせるという初めての試みを実施した事により、同業者間の連携・商店街の魅力が来場者に知ってもらう事が出来た。 ・また、椎葉神楽公演や郷土芸能と食のタペの開催により、椎葉の食材を使ったコース料理や郷土芸能の披露・観光地PR等、情報発信の場となり、椎葉村の素晴らしさを知ってもらうことができた。 |
| | 美郷町 | よーい！美郷へ来んね！？事業 | 東九州自動車道開通による大分県からの誘客促進のため、「美郷フェア」の開催や大分県民をターゲットとした体験型ツアーを実施し交流人口拡大を図る ①知って来んね！？美郷 大分県での知名度向上を目的とした美郷フェアを開催 ②来て来んね！？美郷 特産品の生産業等の体験型イベントを実施 ③また来んね！？美郷 「さいごうの関」において観光宣伝及び特産品販売を行う美郷フェアを開催、魅力を発信する場として強化する | 8,017 | ①知って来んね！？美郷 大分県「美郷フェア」平成28年2月13日～14日開催 ②来て来んね！？美郷 体験型イベント(金柑) 平成28年3月2日実施 ③また来んね！？美郷 さいごうの関での「美郷フェア」平成28年3月6日開催 | ①知って来んね！？美郷 延べ630人が美郷の商品を購入し、美郷町を知ってもらえる機会となった。 ②来て来んね！？美郷 定員15名に対し、キャンセル待ちが出る状況で、体験者には美郷の魅力を発信できた。 ③また来んね！？美郷 延べ327名の参加があり、商品の購入及びパンフレットの配布で美郷の情報を発信した。 |
| | 高千穂町 | 恋い来い応援事業 | 高千穂町の若者が高千穂の素晴らしい自然景観や伝統文化、さらには豊かな食文化を町内外の若者と交流をおしながら広く全国にアピールし、交流人口の拡大と地域経済、地域全体の活性化、さらには少子化、晩婚化の解消を図る。 ①交流促進及びPR活動のための研究会やワークショップの開催 ②商店街や集落等の地域コミュニティを巻き込んだ交流促進事業の実施 | 2,054 | ①研究会 ・勉強会及び懇話報告会を計4回実施 ・仕事や経済交流を通して町内外の人と交流が持てる仕組み作りを検討 ②交流促進事業 「観光客や地元住民、老若男女が自然な形で交流できる機会を創出する」をテーマに、毎月第3土日に交流イベント「高千穂直会」を11月からスタート 参加店舗数：26店舗、参加者数：5回で1,320人 | ・これまでの取組により、参加者及び地域住民から高い評価を得ることができている ・今後は、観光ではなく当イベントを目的に来町したいという意見をいただき、リピーター獲得(縁づくり)への足がかりができた。 |
| | 日之影町 | 緑のふるさとと協力隊と連携した都市部との交流促進事業 | 歴代のふるさとと協力隊員とのネットワークを活用し、都市部での物産展などのPR活動を行い、交流人口の増を図る。 ○農林業を核とした交流物産展事業 | 1,500 | ○農林業を核とした交流物産展事業 ほおすき市 場所：六本木朝日神社 平成27年7月10日～11日開催 | ○日之影町PR ほおすき市開催中、朝日神社社殿において神楽を奉納し、多数の来場者があり、テレビ局等からの取材もあり、町の魅力をPRできた。 今後も都市部との交流を積極的に展開することで「宮崎を知ろう！100万泊県民運動」にもつながるものと期待する ○ネットワークの強化 ほおすき市については、緑のふるさとと協力隊OBや関東日之影町人会等の協力のもと運営したが、本町近隣の市町村出身者や縁のある方も多数来場があり、今後、多様なネットワークの強化が期待される。 |
| 五ヶ瀬町 | 日向往還山頭火交流プロジェクト | 日向往還山頭火交流プロジェクトとして、更なる観光客誘致、文化振興を図るため、本町の歴史的財産である日向往還をコースとしたウォークラリーの開催及び町内児童生徒の自由律俳句大会の作品募集・表彰式を開催 | 446 | ①自由律俳句大会開催 町内の小学校4校、中学校2校を対象に開催 作品募集：9月14日～10月16日 入選俳句選考：10月22日～11月4日 表彰：各学校で表彰(特選1句、入選5句) ②日向往還山頭火ウォーク 3月21日に熊本県上益城郡山都町で開催された「日向往還歴史ウォーク」に併せて本町も開催 | ○自由律俳句大会 164名318句の応募(昨年148名281句) 小学生の部で昨年を上回る応募があり、文化振興が根付いていることを実感した ○日向往還山頭火ウォーク 100名の申込定員を超える問い合わせがあり、町外参加者が95名と、町への一定の経済効果も得られた。 | |
| 計 | | 11団体 | 11件 | 44,811 | | |
| 合計(5 地域振興分野) | | 15団体 | 15件 | 193,306 | | |

平成27年度宮崎県口蹄疫復興対策運用型ファンド事業 実施状況

(単位：千円)

| 事業（メニュー）区分 （分野） | 助成事業者 | 事業名 | 事業概要 | 助成額 | 実施状況 | 成果等 |
|--------------------|---------------------------|---|---|---------|--|--|
| (1) 連携・協働復興支援 | NPO法人 みんなのくらし ターミナル | 「ふれあいの居場所」を核とした 人と地域のつながりによる新たな 地域づくり創出事業 | 都農町に開設した地域住民の集いの場「ふれあいの居場所」を核に、地域づくりの活動の場として広げ展開し、その取組を先駆的なモデルとして、地域づくりの活動を創出する 事業期間：H23～H27 | 2,000 | (1)年間通して継続的に行った取り組み ・昼食会（毎週火曜・金曜日開催） ・居場所でのべらナイト（月1回開催） ・みんなで話そう会（月1回開催） (2)その他の主な取り組み ・勉強会の開催 ・視察等受入れ ・口蹄疫終息5周年企画シンポジウム（県弁護士会、県ボランティアアリア支援連絡協議会主催）参加 等 | ・利用者数 1日平均約10名 ・昼食会 平均参加者数：火曜日は20名前後、金曜日は10名前後 ・事業開始当初は、居場所の役割や意義が住民などに伝わらない部分も多くあったが、最近では、居場所が単に地域住民の「集まる場所」だけでなく、「話す」ことでつながり、孤立を防ぎ、うつや引きこもり、不登校などといった様々な問題の解決の一つとして重要な役割があることの理解が進んでいる。 これまでの活動に対し、県精神保健福祉大会において、県精神保健連絡協議会会長賞を受賞 これにより、居場所に関わる多くの方々から「たすけあい」という視点をより意識するようになった。 |
| | | | 計 1 団体 1 件 | 2,000 | | |
| (2) 復興メモリアル支援 | 「水平線の花火と音楽6」と音楽6」実行委員会 | 水平線の花火と音楽6 | 口蹄疫・鳥インフルエンザ 新燃岳被害から立ち上がる宮崎の元気を県内外にアピールするイベントの開催 | 2,000 | イベント：平成27年10月18日開催 | ・口蹄疫の被害を風化させないことや復興への想いの発信 ・口蹄疫、新燃岳被害といった宮崎県内で起きた事前災害を再認識するとともに、再発防止を県民の復興への“思い”を県内外に広く伝え、口蹄疫等の被害に対する継続的な支援の必要性を改めて認識させる契機となった。 ・観客数：約13,000人 ・花火：10,000発 ・J A うめっちゃやが市／宮崎県産品の販売ブース |
| | | | 計 1 団体 1 件 | 2,000 | | |
| (3) 財団直接実施事業 | 口蹄疫復興財団 | 口蹄疫等防疫対策等情報発信事業 | 口蹄疫メモリアルセンターの展示内容の拡充等 | 1,806 | ・口蹄疫メモリアルセンター常設及び巡回用パネル制作 ・口蹄疫の発生から終息、再生・復興、新生DVD製作 ・口蹄疫終息5周年式典におけるDVD放映 ・第14回全日本ホルスタイン共進会における展示・情報発信 ・口蹄疫巡回パネル展（H27.4.21～8.30） | ・口蹄疫メモリアルセンターは、小中高校の遠足や校外学習等で活用されるなど、口蹄疫の経験をしっかりと記憶にとどめ、語り継いでいく拠点施設として有効に活用されている ・県内外での風化させない取組の強化等、当センターを拠点として展開していく |
| | | | 計 1 団体 1 件 | 1,806 | | |
| 合計（6 その他） | | | 3 団体 3 件 | 5,806 | | |
| 総計 | | | 44 団体 51 件 | 569,768 | | |